

令和5年度「脱炭素×復興まちづくり」FS委託業務一覧

代表業務責任者 (括弧内は共同実施者を記載)	業務名・業務概要	主な調査対象地域
<p>【1次公募】 株式会社エックス都市研究所 (ヒューリックプロパティソリューション株式会社)</p>	<p>再生可能エネルギー・蓄電・排熱利用による「脱炭素×地域共生型」データセンターを中核とした復興事業モデルに係る実現可能性調査</p>	<p>福島県双葉郡大熊町</p>
	<p>データセンターの省エネ、高効率化(低PUE※¹化)のほか、再エネ(主に、大規模太陽光発電設備を想定)や蓄電システム導入による電力需給の最適化、排熱利用(農作物工場を想定)の可能性を含む、「脱炭素×地域共生型」データセンターを中核とした復興事業モデルの実現可能性に係る調査及び検討を行う。</p> <p>※1: PUE:Power Usage Effectivenessの略。データセンター等のIT関連施設のエネルギー効率を表す指標の1つ。</p>	
<p>【2次公募】 住友商事株式会社</p>	<p>水素エネルギー等の利活用によるSHOWCASE※²プロジェクトを通じた復興まちづくりに係る実現可能性調査</p>	<p>福島県双葉郡浪江町</p>
	<p>水素エネルギー(以下「水素」という。)の多様な利活用方法や、水素以外の再生可能エネルギーを導入した際の複合的かつ効率的な見地から最適化されたエネルギーマネジメントの検討等を含むSHOWCASEプロジェクトの実現可能性に係る調査及び検討を行う。</p> <p>※2: SHOWCASE 本業務では、「SHOWCASE」として、「水素×ライフスタイル」に係る多様なユースケースを体験することが可能な地域施設」を想定している。</p>	

代表業務責任者 (括弧内は共同実施者を記載)	業務名・業務概要	主な調査対象地域
<p>【令和4年度から2ヶ年で継続実施】</p> <p>日本工営株式会社 (株式会社ふたば)</p>	<p>CO2のネットゼロ化(ゼロカーボン)を目指した ワイン事業による復興まちづくりに係る実現可能性調査</p> <hr/> <p>ブドウ栽培やワイン醸造等のワインづくりのプロセスにおける再生可能エネルギー(透明発電ガラスを用いた太陽光発電を想定)等によるCO2のネットゼロ化(ゼロカーボン)及びワイン事業による地域振興を通じた復興まちづくりの実現可能性に係る調査及び検討を行う。</p>	<p>福島県双葉郡富岡町</p>

※各業務内容を代表業務責任者別(五十音順)に記載。以上は、提案時の業務概要であり、全てを網羅するものではありません。また、個別の調査項目等は委託元の環境省との協議により変更される可能性があります。

※本委託業務は、エネルギー対策特別会計エネルギー需給勘定による予算で実施されます。そのため、各業務では、エネルギー起源CO2の削減効果の試算を行います。